

(前頁より続く) ご案内を溝田勝彦団長および団員の本間豊明校友から行って頂きました。更に、板橋区地域支部山崎一郎幹事から9月30日開催の東京都北部支部主催で明治大学出身落語家が出演する「明治寄席」のご案内も行われました。



楽しい暑気払いの時間もあつという間に終わりを迎え、待ちに待った校歌斉唱を応援団出身の渡辺裕之江東区

地域支部長のリードにより、参加者全員で円陣を組み大合唱となりました。そして、会場にその余韻が残る中、参加者全員の集合写真撮影が和気あいあいの中で行われました。全員の満面の笑顔が大変印象的でした。閉会の挨拶は、板橋光一幹事長の「暑さを乗り切ろう!」というシユプレヒコールに続き、締めは兼村仁常任幹事の元気いっぱいのお本締めで二〇一六年暑気払いはお開きとなりました。

◆文責・幹事長板橋光一(昭和47年法学部卒)

◆8月7日 日曜に池袋第2公園に於いて開催された「第一〇〇回記念 えんがわ市」「としまZOO推進協議会」主催のフリーマーケットに我が明治大学校友会 豊島区地域支部の有志が参加



出店しました。大変な猛暑の中、三浦シニアフェロー、白砂支部長、板橋幹事長方々幹部も集結しフリマ商品を販売しました。

今回のフリーマーケット出店と販売の主目的は、当日のフリマでの売上金額全額を豊島区経由で熊本大震災の「熊本城修復」への義援金として寄付することを目的とした出店でした。

8月22日午前 明治大学校友会 豊島区地域支部 白砂支部長とともに 豊島区 区民部 区民活動推進課を訪れると同時に、白砂支部長より 同じく明大豊島の校友でもある増子豊島区区民活動推進課長にフリマでの売上高一万七千円



の義援金が手渡されました。美しい熊本城は戦国の名立たる武将「加藤清正」公が築城した難攻不落の名城ではありますが、今回の熊本大地震には残念ながら石垣や本丸に大きなダメージと損傷を受けました。

完全修復には何十年も掛かると言われていますが、熊本県民の心ふるさと、且つ象徴でもある熊本城、少しでも早く修復されることを心より期待し「第一〇〇回記念 えんがわ市」でのフリマ売上金を寄付しました。

我々明治大学校友会豊島区地域支部としては、1日も早い熊本の復興を心より応援すると同時にご祈念します。(柳田)

◆6月26日に、元明大サッカー部監督の神川明彦氏が率いるJ3リーグ所属のグルージャ盛岡の応援をしに北区の西が丘サッカー場まで校友有志で行って参りました。

試合会場には、明大サッカー部を始めとした明治の関係者が多数見られました。試合は、同じ明大サッカー部出身の室屋成選手所属の



FC 東京U23に0対1で敗れてしまいました。支部旗を掲げて明治ゆかりの監督・選手を応援できた充実の1日でした。盛岡のサポーターの方からは神川監督のサッカーを評価する声も聞かれ、地元可愛れていることを実感いたしました。機会があれば盛岡まで応援に行ってみたいと思います!! (藤田)



◆7月3日、池袋御嶽神社七夕祭にてマンドリン倶楽部OB会メモリアルオーケストラによる演奏をご披露頂きました。観客の方々には境内に響き渡る古賀メロディに一樣に聞き入っております。

当日は三十度を超え、皆さま汗だくになりながら、ご熱演頂いた事、心より感謝申し上げます。(中西)



明治大学校友会豊島区地域支部会報



# 豊島支部 NEWS

2016年 第53号

<http://meiji-toshima.com>  
フェイスブックもチェック!!

## 校友会豊島区地域支部平 成28年度暑気払い開催!



豊島区地域支部の三大イベントの一つである恒例の暑気払いが、平成28年8月6日(土) 18時から池袋駅東口にあります第一イン池袋当日は、最高気温34度越えという猛暑で、夕方になってもその暑さは続いておりましたが、この日を大変楽しみにされていました。この日を大変楽しみにされていました。この日を大変楽しみにされていました。この日を大変楽しみにされていました。この日を大変楽しみにされていました。

司会進行は、すっかりお馴染みとなりました長尾睦子常任幹事と劇団ムジカフォンテ知久晴美代表、今年からは若手のホープである中西大輔校友を加えての3名で賑やかに進められました。  
まず、白砂正人支部長からオープニングの挨拶が行われました。そして、お忙しいご公務の



時間を割いて毎回毎回ご参加頂いております高野之夫豊島区長からご挨拶を頂戴しました。



丁度、東京都知事選挙が終わったばかりでしたので、小池百合子新都知事誕生にまつわる大変興味深いお話しを

ご披露頂きました。

そして、次に長橋桂一東京都議会議員からは、米国に嫁がれていらっしゃるお嬢さんにお子さんが生まれたこと、初孫の対面に近日常に渡米されるお話しを満面の笑みでなされ、会場全体が幸せな空気に包まれました。

高野区長と長橋都議会議員のお話しで会場が盛り上がったところで、暑さを吹き飛ばすべく増田治美校友の乾杯の音頭で一同杯を掲げ、暑気払いがスタート致しました。

今回は、参加者同士の交流を中心に行って頂くことが趣旨でしたので、イベント等は行わず二〇一五年9月20日に開催されたマンドリン倶楽部OB会メモリアルオーケストラ第1回定期演奏会の実況録音をBGMとして会場に流しました。不

滅の古賀メロデーが流れる中、各校友の話しも大変弾みました。

なお、今回も多数の初参加者がありましたので、お一人お一人自己紹介を行って頂きました。(写真左)

参加者の中には、創部80周年を迎えた明治大学レスリング部中出幹児監督もおられましたので、リオデジャネイロオリンピックブック開催中もあり、二〇二〇年東京オリンピックを見据えたレスリング部の将来について力強いお話しを頂きました。その後、豊島区地域支部旗をバックに初参加者のみで記念の集合写真を撮りました。そして、これも恒例となりました校友の豊島区役所幹部職員から自己紹介と区のイベントについてのお話しを行って頂きました。

また、豊島区地域支部が後援しております9月19日(敬老の日)開催の「明治大学マンドリン倶楽部OB会メモリアルオーケストラ」の第二回定期演奏会の(次頁に続く)



# 明治魂を伝える

平成四年商学部商学科卒

本間 豊明

私が「明治」とかわりを持ったのは、明治大学付属明治中学校に入学した一九八二年、今から三十四年前からです。その時から大学卒業までの十年間、明治一色の生活を送ってきました。

学生時代に打ち込んだことはずばり、マンドリン音楽です。マンドリンというのももちろん明治大学が有名ですが、当時中学生だった私は、明治大学マンドリン倶楽部の創設メンバーであり国民栄誉賞受賞者の「古賀政男」の名もよく知らずに、単にギターを弾けるようになりたいという思いから、ギターのパートもあつた付属中学・高校のマンドリン部に入部しました。

そこで出会ったのが、当時から現在まで、明治高校マンドリン部の音楽監督である久保田孝先生です。先生は前述した故古賀政男先生とも交流があり、明治中高出身で明大マンドリン倶楽部を経て、卒業後ヨーロッパへ留学し本場の音楽



音大に勝るとも劣らない本格的なものでした。

高校卒業後、順調に明治大学へ推薦入学できた私は、更に4年間の青春をささげるがごとく、マンドリン倶楽部の門を叩きました。

当時は、バブル絶頂で年間一〇〇回以上の演奏会が行われておりました。その大半を主催していたのが明大校友会の全国各地の支部の諸先輩方でした。その時に「校友会」という存在を知りました。

演奏会は演奏者だけで成り立つものではありません。奏者は純粋により良い音楽を追求し、練習を重ねていけば良いのですが、演奏会場の確保や集客など、演奏会を成功させるためには、奏者以上に様々な裏方の苦勞があります。

恥ずかしながら自分が現役の学生だった時は、その場さえ行けば、多くのお客様にご来場いただいているのを目の当たりにし、あまり裏方の苦勞を考えることが

を学んでこられていました。私は

高校二年生の時に指揮者となり、高校卒業まで和声法・指揮法を先生に学びに行きました。そのレッスン内容は、

ありませんでした。もっともその時は演奏だけで手一杯でしたが。

卒業後、新卒で現在も勤めております(株)丸井に入社しました。そのきっかけとなったのは、丸井錦糸町店での店頭演奏です。私が大学四年生で学生指揮者だった時に、GWのイベントとして、マンドリン倶楽部が出演しました。そのイベントを企画していただいたのが、マンドリン倶楽部出身で当時錦糸町店で働かれていた4学年上の石畑先輩です。その頃就職活動を行っていた私にとっては、就職先を決める大きなきっかけとなりました。

入社後は音楽から離れ、一般的なサラリーマン生活を送ってききましたが、転職が訪れたのは、6年前の夏です。高校時代の師匠であった久保田先生が現在も主催されている「クボタ フィロマンドリーネン オーケスター」の演奏会のチケットを友人からいただき、聴きに行った時に大きな感動を覚えました。そして18年ぶりに音楽活動を再開すべく楽団に入団し、3年前から和声法・指揮法を再び学び始め、現在も続けております。

明大校友会豊島支部との出会いはちょうど一年前です。出身校である明治高校は、毎年45歳となった卒業生が幹事学年となり「総明会」という全学年の同窓会が行われます。昨年総明会の幹事学年であった私は、会の運営を通じ多くの先輩と

再会・知り合い 明治大学校友会豊島地域支部」の存在を知りました。

同時に昨年は溝田先輩、日下先輩、玉置先輩を中心として 明大マンドリン倶楽部OB会メモリアルオーケストラ」が発足し、記念すべき第一回目の定期演奏会が南大塚ホール」で行われた年でもありません。私もギターで出演しましたが、なんと豊島支部が後援となっており、当時の豊島地域支部長の三浦先輩(現東京都北部支部長)を紹介していただきました。豊島区北大塚出身・居住中である私は、運命に従い支部活動に参加させていただくことになりました。

学生時代に全国各地の校友会の諸先輩方にお世話になったことに対し、いつか何らかの形で恩返ししたいと漠然と思っていましたが、自分がこの年になり、一つの答えをようやく見つけることが出来ました。

先輩に恩返しするということはすなわち、自分がそうしていただいたように、現役の学生や後輩に対し、多面からフォロワー・バックアップを行うこと。自分一人で行えることは限られていますが、支部の先輩方に最大限協力し豊島支部として、更には北部支部の一員として明治大学の名をあげられるよう、尽力していきたいと思えます。

# 校友・企業紹介

## セゾン投信株式会社

代表取締役 中野晴啓

昭和62年 商学部卒

今回はセゾン投信株式会社の中野晴啓社長（昭和62年 商学部卒）をサンシャイン60の本社に訪ねました。

セゾン投信は10年前の二〇〇六年6月に、ここ豊島の地で設立され、

二〇〇七年より「セゾン・バンガード・グローバルバランスファンド」と「セゾン・資産形成の達人ファンド」という二本



の投資信託を運用・販売されている会社です。「誰でも安心して参加出来る本格的な長期保有型の投資信託」を「**手軽な金額でコツコツゆっくり積み立てて資産を育てていく**」ことを運用方針とされていること。販売手数料・解約手数料ともにゼロ。信託報酬も（業界では考えられない程の）低コストで

あることなど、私たち生活者の目線に立った商品設定が好評を博し、今年には口座数11万件突破。運用資産残高約一四〇〇億円と順調に実績を伸ばしておられます。

そんな会社の創業社長ですから、学生時代からグローバル経済や金融工学を専門に研究されていたのかと思つていま

したが、中野さんが運用の世界に入ったのは、「卒業後、セゾングループに入社されてから」とのこと、学生時代は「ラケットボール部」を創部

されたり、渋谷での合コン開催、六本木へのディスコ通い等々、明治らしく人間力磨きに重点をおかれたそうです（笑）。ただ所属された会計学の鈴木義夫ゼミで学んだ簿記の知識は、ファンドマネージャー時代から大いに役立つているとのこと。こうしたことも含めて『人間力』ですね。

またセゾン投信は昨年8月、業界初となる「**フィデューシャリー宣言**」を公表されました。これは、

「投資信託運用業者として、お客様のためのみ運用業務・長期投資に努めること」や「合理的な最低限の報酬を受け取ること」そして「一切の利益相反行為を排除し一〇〇%お客様の幸せに注力すること」などを確約・公表した宣言です。『お客様「第一」ではなく、お客様「全部」主義』と、中野社長自身が熱く語っておられたのが印象的でした。こうした社長の想いと一貫した経営姿勢が社内でも共有・実践され、高い評価につながっているのだと思います。

超多忙のため、趣味の歌舞伎やゴルフもご無沙汰とのことですが、たまに豊島支部で息抜きをさせていただき、運用資産一兆円の目標に向け益々活躍されることをお祈りします。

校友の皆さん、超低金利が続く今日この頃ですが**毎月五〇〇円**から始められる「池袋のファンド」で資産をゆったり大きく増やしてみませんか？当社ホームページには、判り易い動画やファンドの情報が満載です。是非ご覧ください。『セゾン投信』で検索「取材者：島倉仁志 霜田寛之」

◆明治大学校友会東京都北部支部定時総会・懇親会が開催されました。

去る、5月28日（土）東京池袋のサンシャインクルーズ・クルーズに於いて三浦支部長が北部支部支部長に就任して初めての「東京都北部支部総会・懇親会」が開催されました。

本年は三年に一度の公開講演会もあり、「侍魂」〜挑戦が作り出す未来〜とのテーマで本学ラグビー出身で2009年から2012年まで監督もされた吉田義人氏を講師に迎え、「明治魂」の何たるかをを熱く語られた事で、聴衆一同、改めて「前へ」の精神の大切さを再確認。総会はスムーズに、懇親会は7各地域支部の校友の皆さんが和気藹々と「明るく」「仲良く」「楽しく」のスローガン通り懇親を深めて散会となりました。

※

最後に、今総会の運営に当たり当豊島区地域支部の役員、校友の皆々様の献身的なサポートのお陰を持ちまして総会が成功裏に終わりましたことを熱く御礼申し上げます。（支部長 白砂）